

一瞬の光をとらえて

刻々と変化する風景をとらえる

学びのねらい

- 📍 天候や季節，時刻によって光の表情が変わることに関心を持とう。
- !! 自然の光の美しさや変化などから感じ取ったことをもとに発想を広げ，表現方法の選択，色彩や構図などの構想を練ろう。
- 👉 色彩や明暗，影などの特徴をとらえ，材料や用具の使い方を工夫して，光の美しさを表そう。
- 🔍 自然の光をとらえた作品のよさや美しさ，表現の工夫を感じ取ろう。

雲の切れ間から差す陽の光，雪が舞い散る瞬間のきらめき。私たちが暮らす空間は，天候や季節，時刻などによって変わるさまざまな光に彩られ，その時，その瞬間でしか見ることのできない美しさがあります。

自然の表情から感じ取った美しさや激しさやぬくもりに，あなたの思いを重ね合わせてみましょう。そして自分の創意を大切に，表現方法を工夫しましょう。



としく
年暮る

しほんさいしき
[紙本彩色・額／73×100cm]

1968 やまたね
山種美術館蔵 [東京都]

ひがしやまかい い
東山魁夷 [神奈川県・1908～99]

青みを帯びた家や木々，雪からは冬の寒さや静けさを感じる。一方で家からもれる黄色い光からは，生活する人々のぬくもりを感じさせられる。四季の表情やそこに結びついた人々の生活をとらえている。



太陽

[油彩・キャンヴァス／452×788cm] 1911～16

オスロ大学講堂蔵[ノルウェー]

エドヴァルト・ムンク[ノルウェー・1863～1944]

白色の太陽から、色の線で表された太陽光が放射状に広がり、海や岩が豊かな色味で描かれている。自然の美しさや生命力が感じられる。

POINT

光の温かさや光の輝きなど、色づかいを工夫して表現しましょう。

生徒作品

夕焼け

[アクリル・紙／
39.1×54.2cm]





生徒作品

ミステリー～水たまりの中の世界～

[写真／サイズ可変]

作者の言葉 雨が降った後の空です。空をそのまま撮るのではなく、大きな水たまりに映った空を撮りました。空がくもっていて、太陽が出てきた感じがはっきりわかる写真になりました。泡もあるので、夏なのに雪が降っているようにも見えます。



生徒作品

日ざかりの公園

[アクリル・紙／
38×54cm]

参照

光を表現した作品の鑑賞については2・3上P.20～21「光が生むリアルとドラマ」も見てみよう。



生徒作品

[鉛筆・水彩・紙／37.7×53.7cm]

廊下の窓から差し込む光の様子を、壁に映された影で表現した作品である。

モネの連作

モネは時間や季節によって刻々と変わる光と大気をとらえるため、同じモチーフによる連作という方法をとりました。一瞬たりとも同じ表情を見せない風景を、^{しきさい}色彩を変えて表現しています。



ルーアン大聖堂，夜明けの正面口とアルバン塔

[油彩・キャンヴァス／106.1×73.9cm]

1894

ボストン美術館蔵[アメリカ]

クロード・モネ

[フランス・1840～1926]



ルーアン大聖堂，夕暮れ

[油彩・キャンヴァス／100×65cm]

1894

プーシキン美術館蔵[ロシア]



**ルーアン大聖堂，
太陽の効果**

[油彩・キャンヴァス／
100.6×66cm] 1894

ボストン美術館蔵